

ロシア地域研究のための基本文献

<事典・工具書>

『[新版ロシアを知る事典](#)』平凡社、2004年。

ロシアと旧ソ連諸国に関する事項が、網羅的に詳しく解説されている。

『[ロシア史研究案内](#)』彩流社、2012年。

「中世ロシアの教会と国家」「第一次世界大戦、ロシア革命、ネップ」「ロシア帝国論」
「文化と思想」「日露・日ソ関係史」など、ロシア地域についての歴史学研究の主要な
テーマが、文献リストとともに紹介されている。

<概説・通史>

中村喜和、和田春樹『[世界歴史の旅 ロシア：モスクワ・サンクトペテルブルク・キエフ](#)』
山川出版社、2013年。

『[新版世界各国史 ロシア史](#)』山川出版社、2002年。

『[世界歴史大系 ロシア史 1-3](#)』山川出版社、1994-1997年。

『[スラブの歴史（講座スラブの世界）](#)』弘文堂、1995年。

<専論・研究書>

○ロシア人と宗教について

中村喜和『[聖なるロシアを求めて：旧教徒のユートピア伝説](#)』平凡社、1990年。

★図書館では [増補版（2003年刊行）](#) も所蔵

濱本真実『[共生のイスラーム：ロシアの正教徒とムスリム](#)』山川出版社、2011年。

○ロシアの言語、文学、書物について

佐藤純一『[ロシア語史入門](#)』大学書林、2012年。

藤沼貴、小野理子、安岡治子『[ロシア文学案内](#)』岩波文庫、2000年。

ロナルド・ヒングリー『[19世紀ロシアの作家と社会](#)』平凡社、1971年。

○ロシアとヨーロッパについて

マルク・ラエフ『[ロシア史を読む](#)』名古屋大学出版会、2001年。

ユーリー・ロートマン『[ロシア貴族](#)』筑摩書房、1997年。

○ロシアとアジアについて

原暉之『ウラジオストク物語ーロシアとアジアが交わる街』三省堂、1998年。

和田春樹『[日露戦争：起源と開戦 上・下](#)』岩波書店、2009ー2010年。

○環境と風俗について

高倉浩樹『[社会主義の民族誌：シベリア・トナカイ飼育の風景](#)』東京都立大学出版会、2000年。

藤原潤子『[呪われたナターシャ：現代ロシアにおける呪術の民族誌](#)』人文書院、2010年。

○ロシアの革命について

マックス・ウェーバー『[ロシア革命論](#)』名古屋大学出版会、1997ー1998年。

エドワード・H・カー『[ロシア革命：レーニンからスターリンへ、1917-1929年](#)』岩波書店、1979年。

○ソビエト連邦と社会主義について

塩川伸明『[多民族国家ソ連の興亡 1ー3](#)』岩波書店、2004ー2007年。

松戸清裕『[ソ連史](#)』ちくま新書、2011年。

和田春樹『[歴史としての社会主義](#)』岩波新書、1992年。

(2013年10月 巽由樹子)